

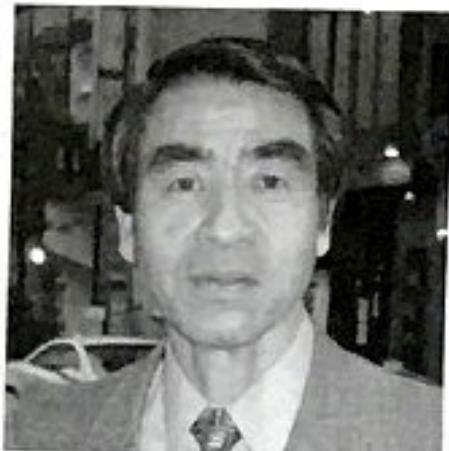
2004/05/01

リタイマエト・パンネス・シモーハル

マイBOOK
マイLIFE

経験を活かす 生き方教えます 鈴木勝さん

『55歳から大学教授になる法』
鈴木勝著（明日香出版社）
1470円



思いがけないビジネスの話も飛び込んでくる
という鈴木勝さん

長く旅行会社に勤めていましたが、アジア太平洋地域の観光振興をもっと深く研究したいと思い、五十五歳で観光学の大学教授になりました。フリーな立場で行動し発言できました。何とあっても時間が自由なので海外にどんどん行こうと思いました。

中国人の海外旅行に興味を持つて研究テーマとし、中国の旅行会社でどんな企画が作られているか担当者に話を聞いたり、どんな売り方をしているか店舗を見たり、中国人の好むクルーズ会社やホテルなどを見て回りました。また例えば受入国のオーストラリア政府

観光局では中国人のマーケットを調査し、政策を打ち出すなど積極的な面が見えてくるのに対し、日本では観光振興がまったくできていません。こうした研究から今、観光大国中国の未来をテーマに専門書としてまとめています。

私はこれから大学を考えると、リタイアリーを活用することが重要だと思います。実務経験を積んで、四十五歳くらいから準備を始め、本を書き、学会に参加して論文を書き、五十五歳で教授になる。そして六十までにまた研究して本を書く。大学のプロパーに对抗するにはとにかく本と論文を書くことが必須です。特に私の取り組んでいる観光学はまだ新しい学問だけほしいと思っています。